

新しい一步を踏み出すために

私立高等学校、専修学校等の推薦入試、一般入試が終わりました。ここから順番に卒業後の進路が決まっていきます。進路先が決まった人は、以下のことを強く意識して生活していきましょう。

① 進路先決定は、ゴールではなく、次へのスタート

進路先が決まったら、次の準備をしなければなりません。公立高等学校を受検してギリギリまで試験勉強に取り組み進学した先輩も、「授業が大変」だと言っていました。卒業までに高めておくべきことは、**進んだ先で、授業に十分ついていけるだけの学力と、自分の特性を生かせる人間性**です。そのために、残りの限られた中学校での生活を大切に、引き続き自分磨きをしていきましょう。この期間を大切にできる人は新しい進路先でよいスタートを切れると先生は確信しています。

② 受験・受検は団体戦

多くの仲間は、これから公立高等学校の受検に臨みます。その仲間を励まし、サポートする姿を期待しています。それが、皆さんにとっての成長にもつながります。

③ 後輩に胸を張れるような姿を見せる

学年を超えて交流する機会は少ないですが、後輩は、皆さんの背中を見ています。これまでの先輩方も、最後まで学校生活を大事にして、後輩にその姿を見せていきました。後輩に自信をもってバトンを渡せるように、これまでのように、あたりまえのことをあたりまえにできる姿を見せてください。

話は変わりますが、以前、「人は見た目が9割」という本が販売され、ベストセラーになりました。その時に掲載された本の著者へのインタビュー記事の中に、「第一印象をよくするポイント」が紹介されていました。次の4点です。

①笑顔でいよう ②適度なアイコンタクトをしよう ③声に気を使おう

④姿勢がよく、髪の毛で顔を覆わないほうが話し掛けやすいよ

著者が言われる「見た目」は表情やアイコンタクト、衣服、動作などの言語以外から伝達される情報のことです。上に挙げた4点は、卒業式に向けて、整えていってほしい内容であるとともに、将来社会人になる皆さんにとって大切なことばかりだと考えています。

また、第一印象をよくするために、そして、その後も、周りにいる人たちに好印象をもってもらうために、次のようなことが大切だと思います。

表情…笑顔が大事です。明るい表情は周りも明るくし、印象をよくします。

アイコンタクト…顔を上げて目で話を聞くことやうなずきながら聞くことが印象をよくします。

衣服…その場にふさわしい正しい身なりが印象をよくします。

動作…周りを意識した、その場にふさわしい行動や言葉遣いが印象をよくします。

皆さんがこれから進む進路先で求められることは、その場所によって違います。髪型、服装等について、自由が認められる場所もあれば、厳しく定められている場所もあります。自由であっても厳しくても、その場面にふさわしい身だしなみや行動、言葉遣いができるようになることが、一人の大人として求められます。今後指摘を受けたときには、それをきちんと受け止めて、改めていきましょう。その結果、誰もが認める素敵な大人になってくれることを期待しています。

保護者の皆様へ 私立高校・専修学校等の入試が終わりました。これまでの手続きや入試当日に向けての準備等ありがとうございました。今後は公立高等学校入試に向けての手続きや準備を進めていきます。それと同時に卒業に向けての動きも本格化していきます。職員一同最大限できることを心掛けて、支援していきます。お子様への励まし等、最後までご協力をお願いいたします。